

大津板紙株式会社

2025年度 環境報告書

大津板紙会社概要		
名 称	大津板紙株式会社	
住 所	大津市馬場1丁目15-15	
代 表 者	熊本 吉喜	
創 立	1955年4月	
従 業 員 数	113名	
事 業 内 容	段ボール原紙・その他加工原紙の製造販売	

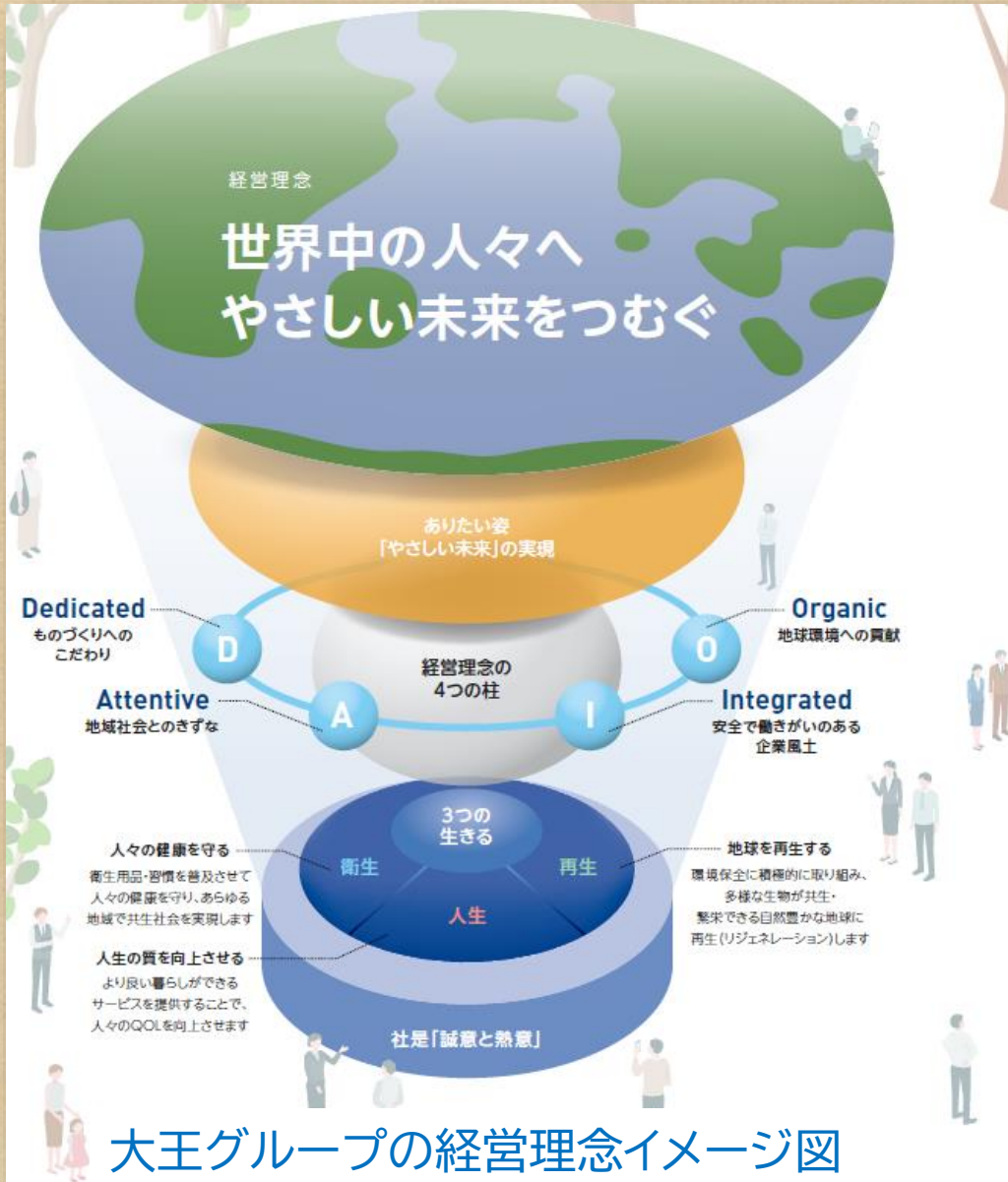
2026年7月

古紙から板紙へ

一度使われた紙のリサイクルを通じて
環境を守り、地域と社会に貢献する企業

❖ 大津板紙株式会社

1. 大王グループ経営理念



大津板紙は大王グループの一員として「誠意と熱意」をもって、「3つの生きる」を成し遂げ、「やさしい未来」を実現します。

これが私たちの存在意義です。

3つの生きるとは、

- 1 衛生 人々の健康を守る
- 2 人生 人生の質を向上させる
- 3 再生 地球を再生する

～世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ～

～環境にやさしい紙作りで 地域社会に貢献します～

太陽光発電
システム導入

高度排水処理
システム構築

古紙再利用による
板紙の生産

(ごあいさつ)

- 世界的に資源や環境の保護が叫ばれている中、全ての原料を使用された段ボールや雑誌などの古紙を再利用して板紙を生産することで、資源の保護に努めています。

また、環境保護への取組として大いなる湖「琵琶湖」の水質保全に貢献するため高度な排水処理システムを構築し、1日2万tの水をクリーンな状態にして、琵琶湖に返しています。

- 資源や環境保護のシンボルとして石山物流センターにソーラパネルを設置し年間300,000kWhを発電、年間150tのCO₂を削減しています。
- あらゆる面から資源をリサイクルし、環境を守っていくことこそが地域社会に貢献することであると考えています。そして大津板紙は、多くの人々が求める企業像を確立しながら、未来に向かって着実に事業活動を推進してまいります。

2. 古紙100%(再生紙)利用の想い



～処分しにくい機密書類も安全確実にリサイクル～

- 捨てればゴミ、燃やせばCO₂を排出する家庭・オフィスからの紙。この古紙を100%原料とし、段ボール原紙を作っています。
- 近隣の自治体・官公庁からの機密古紙の回収も積極的に行っており、滋賀県内だけでなく、近隣府県からも利用されています。
- 多様な機密古紙処理のニーズに応えるため、これまで原料として利用できなかった古紙についても、活用できるよう取り組んでいます。
- 古紙に混入しているプラスチックなど、紙として再生できなかったものについては、ボイラー燃料やセメント原料として有効活用できるよう取り組んでいます。
- 「安価に紙ごみを処分したい地域の皆様の思い」と、「受け取った紙をできるだけごみにせず処理したい当社の思い」を胸に、日々技術を磨いています。

機密古紙 年間4,520tを原料として再生しています。

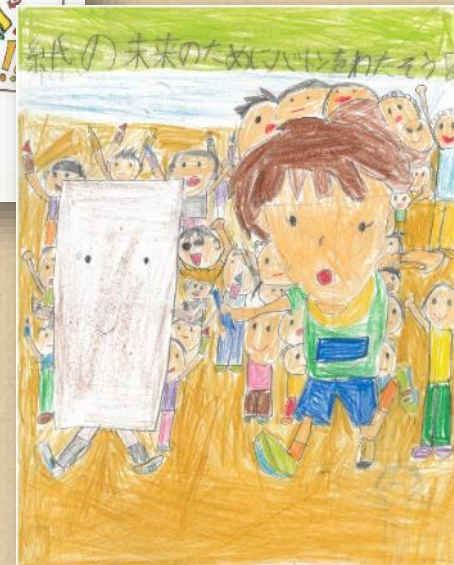
3.地域との共生

① 近隣小学校の工場見学の実施

近隣の小学校の工場見学を積極的・継続的に行うことで、学校では学べない「モノ作り」の現場で学んでもらっています。



平野小学校での工場見学前説明会



滋賀大学教育学部附属小学校の生徒が描いたポスター

② 琵琶湖清掃活動

2025/7/1 一斉清掃(大津地区)に参加し、
琵琶湖の環境改善に協力しました。



③ ひらのまつりに出展

大きな板紙で折り紙を体験してもらいました。

④ こども食堂へ食材の提供しています。



⑤ 工場周辺と近隣の清掃活動を

毎朝行っています。

⑥ 吸音パネルの施工範囲を広げています。



⑦ 古紙の飛散防止のネットを張っています。

⑧ 通学時間帯と夜間は入出門を禁止

通勤通学をする人の安全確保と、夜間に大型車輦が走行しないよう地域に配慮しています。



大津板紙構内へ入出場する皆様
いつもお世話になります。

2025年6月
大津板紙構内/大津紙工機

工場周辺の交通安全ポイントをお知らせします。
交通法規はもちろんの事、交通マナーを正し、
気持ちの良い運行にご協力お願いします。

ポイント①
「スピード」
歩行者が車道に突然はみ出てくるかもしれません。
十分に減速し、徐行運転をお願いします。

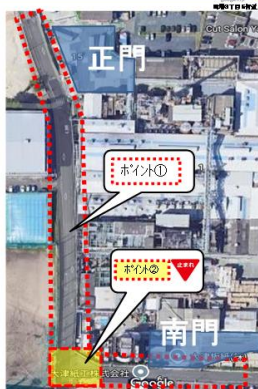
ポイント②
「一旦停止」
合流に際し、しっかりと停止し、
南北往來する車両の通行を妨げないようにしましょう。

ポイント③
「正門・南門」
歩行者の有無や離合車両を
意識し、ゆとりある入出場を
しましょう。

構内ルールも遵守します

・古紙ヤード内は制限速度10km/hの運行ルールとしています。また、誘導員の指示及び路面の「トマレ」表示に必ず従っていただけますようお願いいたします。
・荷役時の安全（昇降用はしご、臺落制止用器具の使用等）も併せて遵守いたします。

以上




⑨ 運転手へ交通規制、交通マナー教育を行っています。

- ✓ 自動車事故対策機構による「安全講習会」
- ✓ 滋賀県警察による「安全講習会」
- ✓ 自動車事故対策機構による「適正検査」

4.数値で見る環境への取組み

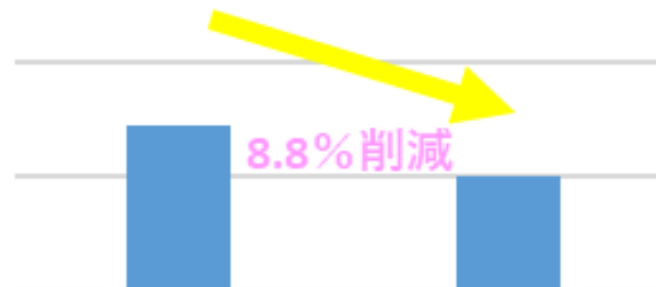
～最新ガスタービンコージェネレーションへの更新～

- 2019年、最新のガスタービンコージェネレーション設備更新によってエネルギー消費量を原油換算で4.2%削減、二酸化炭素排出量(CO₂)8.8%削減しました。
- 硫黄酸化物(SO_x)排出量はゼロ、窒素酸化物(NO_x)排出量は12ppm(規制基準70ppm)となっています。
(数値は何れも当社調べ)

年間エネルギー



CO2排出量



窒素酸化物(NO_x)



～環境監視項目の自主規制～

・水質

監視項目	自主基準値
水素イオン濃度:pH	6.5～7.5
生物化学的酸素要求量:BOD	14mg/ℓ以下
化学的酸素要求量:COD	18mg/ℓ以下
浮遊物質量:SS	35mg/ℓ以下
窒素含有量	6mg/ℓ以下
リン含有量	0.6mg/ℓ以下
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)	5mg/ℓ以下
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)	20mg/ℓ以下
フェノール類含有量	1mg/ℓ以下
銅含有量	1mg/ℓ以下
亜鉛含有量	1mg/ℓ以下
溶解性鉄含有量	10mg/ℓ以下
溶解性マンガン含有量	10mg/ℓ以下
クロム含有量	0.1mg/ℓ以下
大腸菌群数	3,000個/㎖以下
アンチモン含有量	0.05mg/ℓ以下

・大気

監視項目	自主基準値
窒素酸化物	70ppm以下
煤塵濃度	0.05g/Nm ³ 以下

・振動

監視項目	自主基準値
昼間	60db以下
夜間	55db以下

・騒音

監視項目	自主基準値
朝・昼・夕・夜間	経済産業省認可値以下

・悪臭

監視項目	自主基準値
敷地境界線上	臭気指数 12以下
排水	臭気指数 28以下

～4段階の排水処理でキレイな水を琵琶湖へ～

工程排水

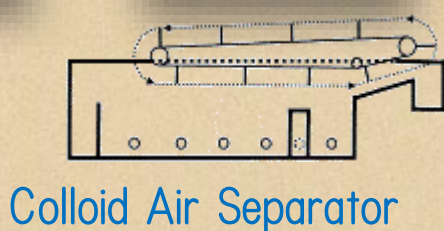
1次処理水

2次処理水

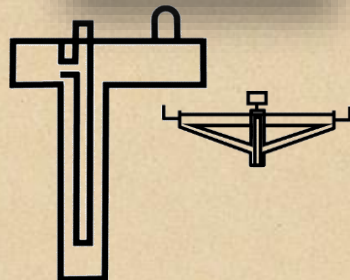
3次処理水

4次処理水

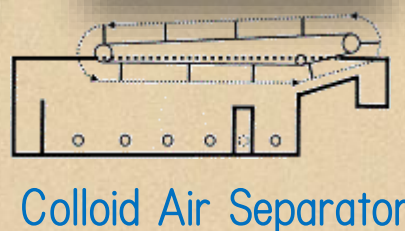
琵琶湖



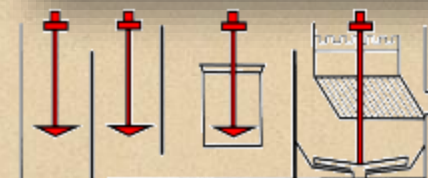
Colloid Air Separator



Deep-Shaft



Colloid Air Separator



ACTIFLO-Carb

2024年稼働し、排水処理を強化しました。

5.大王グループ+大津板紙 環境保全の取組み



2026 年 大王グループ環境保全活動方針

「経営理念」世界中の人々へやさしい未来をつむぐ

「行動規範」

・大王グループは地球環境と調和した事業活動を通じた環境問題への積極的な取り組みを目指す「DAIO 地球環境憲章」、及び過去から取り組んできた社会課題の解決と世界共通目標であるSDGsを運動させた大王グループ「サステナビリティ・ビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に貢献する。

・大王グループは関係法令等の遵守はもとより、各国・地域の文化・慣習に配慮した事業活動、地域に根差した社会貢献活動や、衛生環境の向上を含む社会課題の解決に取り組むことにより、地域社会との共生を図る。

1. 活動方針

1) 環境の3本柱に継続して取り組みます【環境保全コンプライアンス】

- (1) 環境保全活動に対する社員の「意識と知識」の向上
- (2) 異常の兆候をとらえ、正常に運転できる「操業方法」の確立
- (3) 機能を正常に発揮できる「設備」の保守・改善



2) 地球の再生に貢献します【環境保全 SDGs】

大王グループ サステナビリティ・ビジョン「3つの生きる（衛生・人生・再生）」のうち、地球を再生するに貢献するため、気候変動への対応、循環型社会の実現、森林保全と生物多様性の維持に取り組む。
「DAIO 地球環境憲章」の7つの基本方針に基づき、社員一人ひとりが環境問題に配慮した生産活動を行う。

2. 重点取り組み項目

1) 環境保全コンプライアンス

目標：環境事故ゼロ、クレームゼロ

(1) 環境法令遵守

- ①KP 臭気回収、脱臭による協定値超過対策。②節水、雨水分離による集中豪雨時の漏洩、放流量量届出値超過対策。③除害設備の性能を維持し、ばい煙濃度、放流水水質の届出値超過予防。
 - ・埋設配管やコンクリート劣化による漏洩事故防止。（劣化場所の更新・改修計画を遂行）
 - ・法令自主点検（年5回）による法令違反の未然防止と、過去に決めた再発防止対策の点検。
 - ・悪いこと、非常事態発生時、速やかに経営トップや関係者に報告し経営リスクを最小限に止める。
- ##### (2) 地域社会との共生
- ・地域住民との対話を定期的に行い、住民意見を反映させた工場運営を行う。
 - ・臭気（KP 臭、排水カブリ臭、印刷有機溶剤臭）、騒音（蒸気音、真空装置排気音、機械異常音）、粉じん飛散（カブリ粉、ばいじん、紙粉）等の住民苦情を受ける前に気づく、連続測定機でのモニタリング体制確立。
 - ・緊急事態（漏洩、爆発、火災）発生時に速やかに処置。同時に地域住民、行政へ情報提供する訓練。
 - ・地域美化活動や環境改善活動に参画し地域社会との共生を図る。

2) 環境保全 SDGs

- 目標：(1) 全エネルギー原単位削減 ・対前年度比 1.0%削減
(2) 再資源化の推進 ・産業再利用率 99.0%以上
(3) プラスチック産廃の削減
家庭紙包装材 排出原単位削減 ・2020年度比 31%減
古紙給の有効利用 ・廃プラ サーマルリサイクル率 97.4%以上
(4) 用水原単位の削減 ・用水原単位（売上高当り）2024年度比 2%削減

DAIO地球環境憲章

理念

大王製紙グループは地球環境と調和したグローバルな事業展開を通じて環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

基本方針

1. 地球温暖化対策の推進

- ・温室効果ガス排出量の削減（化石燃料からの部材転換、省エネルギー等）
- ・環境負荷低減や、自然災害に配慮する施設・設備への見直し

2. 森林保全と生物多様性の維持

- ・森のリサイクル推進（植林によるCO₂吸収量の増大）
- ・絶滅危惧の恐れのある動植物の保護

3. 資源の有効活用と環境に配慮した資材調達

- ・紙のリサイクル推進（古紙利用促進・資源処理古紙利用拡大）
- ・CSR調達の実現

4. 廃棄物の低減と有効利用

- ・ゼロエミッションの実現
- ・廃棄物再利用促進

5. 環境負荷低減技術・商品の開発と展開

- ・水資源の適性管理、水利用の効率化
- ・環境配慮型製品の開発・展開

6. サプライチェーンを含めた環境負荷の低減

- ・ライフサイクルにおけるCO₂排出量の削減
- ・荷資材に使用する紙・プラスチック等の資源循環の推進

7. 法令遵守と積極的な環境コミュニケーション・地域社会との共生

- ・環境コンプライアンスに関する自主点検活動の推進・レベルアップ
- ・環境データの適切な開示と地域共生活動への積極的な参加

2026 年大津板紙グループ環境活動方針

2025 年 12 月 18 日
安全環境・品質管理室

「行動規範」

- ・大王グループは地球環境と調和した事業活動を通じた環境問題への積極的な取り組みを目指す「DAIO 地球環境憲章」、及び過去から取り組んできた社会課題の解決と世界共通目標であるSDGsを運動させた大王グループ「サステナビリティ・ビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に貢献する。
- ・大王グループは関係法令等の遵守はもとより、各国・地域の文化・慣習に配慮した事業活動、地域に根差した社会貢献活動や、衛生環境の向上を含む社会課題の解決に取り組むことにより、地域社会との共生を図る。

大王活動方針

- 1) 環境の3本柱に継続して取り組みます【環境保全コンプライアンス】
 - (1) 環境保全活動に対する社員の「意識と知識」の向上
 - (2) 異常の兆候をとらえ、正常に運転できる「操業方法」の確立
 - (3) 機能を正常に発揮できる「設備」の保守・改善
- 2) 地球の再生に貢献します【環境保全 SDGs】

大王グループ サステナビリティ・ビジョン「3つの生きる（衛生・人生・再生）」のうち、地球を再生するに貢献するため、気候変動への対応、循環型社会の実現、森林保全と生物多様性の維持に取り組む。
「DAIO 地球環境憲章」の7つの基本方針に基づき、社員一人ひとりが環境問題に配慮した生産活動を行う。



1. 重点取り組み事項

環境保全コンプライアンス 目標：環境事故ゼロ、クレームゼロ

1) 環境保全活動の取り組み 従業員一人一人が環境異常を先取

- (1) 工場運営に必要な環境関連資格の計画的な習得・・・法令・管理基準を遵守強化
- (2) 環境リスク抽出・対策で環境事故を未然防止
- (3) 製造工程最適化、排水処理設備の運用、用水原単位管理で、今後予想される規制値に備える。

2) 住宅・学校に阻まれ環境事故・クレームが会社の存続に大きな影響を与えることを意識する。

- (1) 排水系、原料系の臭気対策とベンチレータ排気対策を策定する。
- (2) 騒音発生源対策と防音を進め、工場敷地境界の騒音を低減する。
- (3) 車輛はルールを守りマナーの良く、地域環境に優しい安全で静かな運転をする。

2. 環境保全 SDGs

項 目	2025 年見込み	2026 年目標
マシン仕上り効率	2M/C 93.3%	93.5%以上
	4M/C 92.5%	93.5%以上
乙紙・張紙率	5.8%	5%以下
エネルギー原単位(年平均)	0.158kL/t	0.155kL/t以下
難処理古紙使用量	4,408t/年	4,200t/年以上
安価古紙使用量	15,470t/年	15,600t/年以上
産業廃棄物量	1,656BDt/年	1,493BDt/年以下
放流水 COD(日間平均)	最大 14.8mg/l 平均 7.7mg/l	最大 15mg/l 操業基準 10±2mg/l

大王グループ環境保全活動方針

大津板紙 環境保全活動方針

6.大王グループ ISO14001認証の取得



大王グループが一体で環境保全に取り組むため、大王製紙とグループ
会社が共同でISO14001取得しています。
(2025年8月8日登録更新)

大津板紙(株)

写



環境マネジメントシステム 審査登録証

大王製紙株式会社
生産本部

愛媛県四国中央市三島紙屋町628

上記で実施されている環境マネジメントシステムは、当協会ISO審査センターに
よる審査の結果、附属書00ER・075R8-02Aに記載の活動の範囲において、
下記のとおり適用規格に適合し、同センターに登録されていることを証明します。

適用規格: ISO 14001:2015 Amd 1:2024 / JIS Q 14001:2025
登録番号: 00ER-075

初回登録日: 2000年8月28日 発行番号: 075R8-02
登録更新日: 2024年8月28日
発行日: 2025年8月8日 有効期限: 2027年8月27日

高圧ガス保安協会

会長
加藤 洋

ISO審査センター担当理事
兼 上級経営管理者
谷口 芳弘

写

環境マネジメントシステム 審査登録証 附属書

附属書番号: 00ER・075R

大王製紙株式会社
生産本部

愛媛県四国中央市三島紙屋町628

製品、プロセス、サービスで特定される活動:

- ・紙、バルブの設計・製造と紙加工
- ・印刷用タック紙及び粘着加工品の開発及び製造
- ・試験分析
- ・環境関連設備の設計・製作
- ・ICTタグの設計・製造

【登録された環境マネジメントシステムに含まれる】

主事業所に含まれる範囲
四国愛媛本部 国内資源部 (製品・投資材調達課、古紙・固休部
工場予算部、工務部、エネルギー企画部、技術開発部)
東京本社: 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
東京本社に含まれる範囲: 資源開発本部 海外資源部 (チップ・液体燃料調達
三島工場: 愛媛県四国中央市三島紙屋町5番1号
三島工場に含まれる範囲
第一製造部、第二製造部、第三製造部、クラフトバルブ部、動力部、新造部
ダイオーエンジニアリング株式会社: ダイオーエワーク株式会社、エリエール
エー株式会社、エリエールプロダクト株式会社 愛媛工場 加工部 第三加工
大王製紙保安検査システム株式会社

発行日: 2025年

〒105-8447 東京都港区虎ノ門4丁目1
ヒューリック神谷ビル

高圧ガス保安
ISO審査セン
担当理事 兼 上級経営
谷口 芳弘

写

環境マネジメントシステム 審査登録証 附属書

附属書番号: 00ER・075R

大王製紙株式会社
生産本部

愛媛県四国中央市三島紙屋町628

【登録された環境マネジメントシステムに含まれる】

ダイオーロジスティクス株式会社 本社 (総務部、安全管理部、地場物流部):
愛媛県四国中央市中之庄町159番
ダイオーエンジニアリング株式会社 三島製紙工場: 愛媛県四国中央市三島町4
ダイオーエンジニアリング株式会社 東京支店 営業部 ICT営業課:
東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センター センタービル6F
可児工場: 岐阜県可児市土田500番地
可児工場に含まれる範囲
製造部、バルブ・動力部、工場予算部、工場資源部、国内資源部 (製品・固
固休部、技術開発部、技術開発部 商品開発グループ、エリエールペーパー
会社 加工部 (可児片加工課、ティッシュ加工課、ロール加工課)、ダイ
ロ株式会社
エリエールペーパー株式会社 静岡富士市東町9番1号
エリエールペーパー株式会社 原田工場: 静岡県富士市原田60番1号
エリエールペーパー株式会社 富士工場: 静岡県富士市野中329
富士工場に含まれる範囲
ダイオーエンジニアリング株式会社、ダイオーロジスティクス株式会社 東
物流部 地場物流課
エリエールペーパー株式会社 仙法事業所: 静岡県富士市仙法315番-2
エリエールペーパー株式会社 行田事業所: 埼玉県行田市長野5-1-1

発行日: 2025年

〒105-8447 東京都港区虎ノ門4丁目1
ヒューリック神谷ビル

高圧ガス保安
ISO審査セン
担当理事 兼 上級経営
谷口 芳弘

写

環境マネジメントシステム 審査登録証 附属書

附属書番号: 00ER・075R

大王製紙株式会社
生産本部

愛媛県四国中央市三島紙屋町628

【登録された環境マネジメントシステムに含まれる】

丸度ペーパーテック株式会社: 愛媛県四国中央市生野下分2012
ダイオーペーパーテック株式会社 本社・津山工場: 岡山県津山市川崎200番
本社・津山工場に含まれる範囲
ダイオーエンジニアリング株式会社、ダイオーロジスティクス株式会社
ダイオーペーパーテック株式会社 加古川工場: 兵庫県加古川市別府町西園二丁
加古川工場に含まれる範囲
ダイオーエンジニアリング株式会社、ダイオーロジスティクス株式会社
大津板紙株式会社: 滋賀県大津市東町1丁目15番15号
大津板紙株式会社に含まれる範囲
ダイオーエンジニアリング株式会社、大王製紙株式会社、大津板紙株式会社
エリエールプロダクト株式会社: 岐阜県岐阜市金山町4番地
エリエールプロダクト株式会社に含まれる範囲: ダイオーエンジニアリング株式
エリエールペーパー株式会社 静岡富士市東町9番1号
大日本製紙株式会社に含まれる範囲: ダイオーエンジニアリング株式会社
エリエールペーパー株式会社 原田工場: 静岡県富士市原田60番1号
エリエールペーパー株式会社 富士工場: 静岡県富士市野中329
富士工場に含まれる範囲
ダイオーエンジニアリング株式会社、ダイオーロジスティクス株式会社 東
物流部 地場物流課
エリエールペーパー株式会社 仙法事業所: 静岡県富士市仙法315番-2
エリエールペーパー株式会社 行田事業所: 埼玉県行田市長野5-1-1

発行日: 2025年

〒105-8447 東京都港区虎ノ門4丁目1
ヒューリック神谷ビル

高圧ガス保安
ISO審査セン
担当理事 兼 上級経営
谷口 芳弘

写

環境マネジメントシステム 審査登録証 附属書

附属書番号: 00ER・075R8-02A (4/4頁)

大王製紙株式会社
生産本部

愛媛県四国中央市三島紙屋町628

【登録された環境マネジメントシステムに含まれる組織等】

エリエールペーパー株式会社 久賀事業所: 静岡県富士市久賀237
エリエールペーパー株式会社 藤岡事業所: 静岡県富士市久賀237-1
エリエールペーパー株式会社 南陵工場: 静岡県富士市南陵6番地
エリエールペーパー株式会社 赤平工場: 北海道赤平市共和町190番地5
赤平工場に含まれる範囲: ダイオーエンジニアリング株式会社
ダイオーペーパープロダクト株式会社 本社・富士事業所: 静岡県富士市佐田町7-84
本社・富士事業所に含まれる範囲: ダイオーエンジニアリング株式会社
ダイオーペーパープロダクト株式会社 徳島事業所: 徳島県徳島市川内町中島635
徳島事業所に含まれる範囲: ダイオーエンジニアリング株式会社
ダイオーペーパープロダクト株式会社 鳥田事業所: 静岡県鳥田市宝来町8-1
鳥田事業所に含まれる範囲
ダイオーエンジニアリング株式会社、ダイオーロジスティクス株式会社、エリエールペー
株式会社
エリエールプロダクト株式会社 愛媛工場: 愛媛県四国中央市三島町4755-11
愛媛工場に含まれる範囲: 加工部、工場企画部、施設部、安全管理部、品質保証部、総務部
エリエールプロダクト株式会社 熊本工場: 熊本県さくら市賀智4776-4
エリエールプロダクト株式会社 静岡工場 (富士山): 静岡県富士市厚原151-2
エリエールプロダクト株式会社 静岡工場 (富士山): 静岡県富士市厚原151-2
静岡県富士市北山4242-5 富士山北山工業団地内
エリエールプロダクト株式会社 福島工場: 福島県いわき市南台4-3-1

発行日: 2025年8月8日

〒105-8447 東京都港区虎ノ門4丁目1
ヒューリック神谷ビル

高圧ガス保安協会
ISO審査セン
担当理事 兼 上級経営管理者
谷口 芳弘

大王製紙グループISO14001審査登録証



大王製紙グループFSC認証書